

■文献名 (2014年)

The role of entrepreneurship education as a predictor of university students' entrepreneurial intention
大学生の起業意図を予測する起業教育の役割

■執筆者:

Ying Zhang ; Rotterdam School of Management, Erasmus University, Rotterdam, The Netherlands

Geert Duysters ; Eindhoven University of Technology and Tilburg School of Economics and Management,
Tilburg University, Tilburg, The Netherlands

Myrian Cloodt ; Industrial Engineering / ITEM, Eindhoven University of Technology, Eindhoven, the Netherlands

■ジャーナル名:

International Entrepreneurship and Management Journal (2014) 10:623–641

■要約:

- ・起業教育が、学生の「起業意図」に影響を及ぼすのを見る実証研究。
- ・「起業教育」は、学生の「起業意図」に正の効果を示した。「過去の起業活動との接触」は、負の効果を示した。
- ・大学、特に技術系、技術専攻における起業教育の必要性を訴えている。

■内容

I. Introduction 導入

- ・近年、多くの研究が entrepreneurship 起業家精神に対して行われてきた。最も多く研究されている問いの一つが「What makes an entrepreneur? 何が起業家を作るのか?」である。特に「何が要因で、個人が、起業家を目指すのか?」という「Entrepreneurial Intention(EI) 起業意図」に関する研究が多くなされてきた(例: Bird(1988)、Boyd & Vozikis(1994))。
- ・Bird(1988)は、「Intentionality 意図」を、特定の目標に向けて、個人の関心、経験、行動を傾ける精神状態と定義した。
- ・これまでの研究では、個人の EI を決める要因として、個人の資質と性格を取り上げてきた。例えば、ビッグファイブ、リスクテイク傾向、自己効力感、exposure to entrepreneurial activities 起業活動との接触、性別である。
- ・更に、entrepreneurship education 起業教育と、起業活動には、明確な関係があることが、先行研究で示されてきた(例: Galloway & Brown 2002 他)。
- ・起業教育は、一般的に「他者が見過ごしている機会を認識し、他者が活動をためらうような領域での洞察と自尊心を保つような概念とスキルを、個人に提供するプロセス」と定義される。
- ・起業教育の重要性は理解されているが、実証研究は少ない。
- ・本研究の目的は、起業教育の起業意図に対する影響を見ることである。
- ・これまでの研究では、起業教育の間接効果を見るものはあり(例: Wu & Wu 2008)、かつ先進国での研究が殆どである。そこで、本研究では、developing countries 発展途上国の一つである中国での調査を行った。
- ・Figure1 に、我々が考える起業意図に対する起業教育の影響を分析する枠組みを提示する。

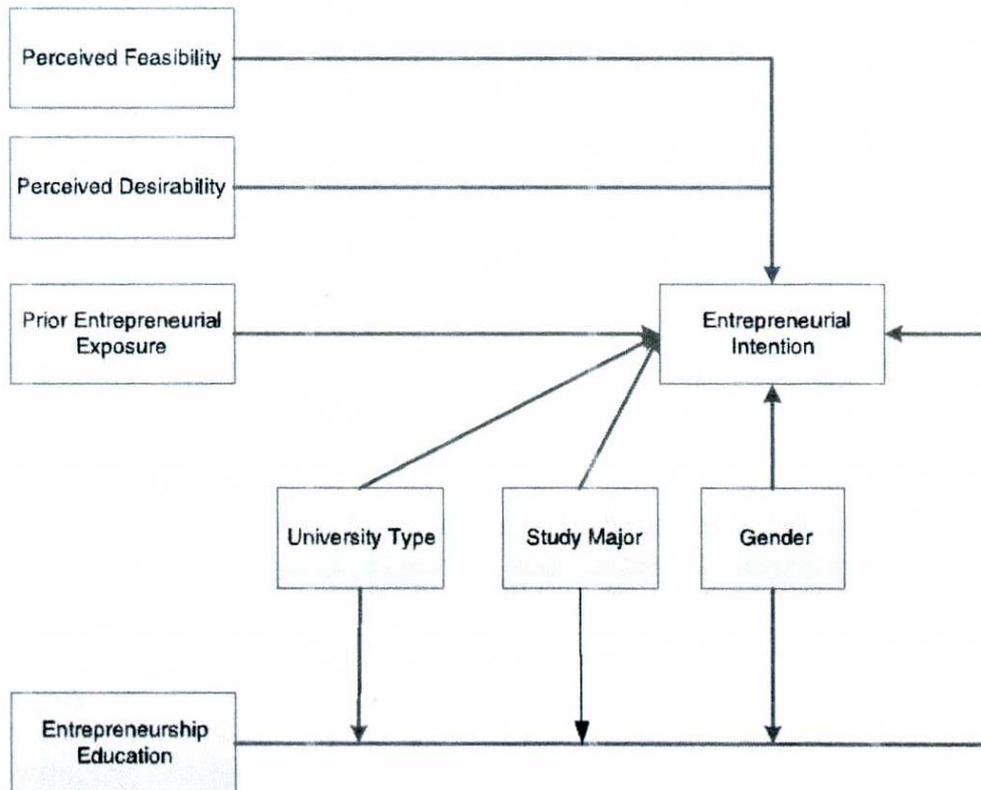


Fig. 1 Conceptual framework

II. Theoretical framework and hypotheses 理論枠組みと仮説

A. Theoretical framework 理論枠組み

- ・我々は、先行研究から2つのモデルを、理論基盤に置くことにした。Shapero(1984)と、Ajzen(1991)である。
- ・Shapero model は、entrepreneurial event model (EEM)と呼ばれ、意図を中心に置き、起業プロセスを描写するものである(Bird 1988)。このモデルでは、起業意図は、「perception of feasibility and desirability 実行可能性と望ましさの知覚」から生まれると考えている。
- ・Shapero は、実行可能性と望ましさの知覚が、ある行動をとる信頼性を決め、「起業活動との接触」は、部分的に、起業意図に影響すると考えた(Shapero & Sokol 1982)。
- ・Ajzen(1991)のモデルは、theory of planned behavior (TPB)である。このモデルでは、3つの要因が、意図の形成につながると考えている。1)行動への態度 2)主観的規範 3)行動管理の知覚(自己効力感)。
- ・これら2つのモデルを使って、起業意図と先行要因の関係を調べたのが、Krueger et al.(2000)である。彼らの研究では、TPBよりも、EEMのほうが、若干、起業意図との関係を見る上では優れていた。
- ・Paco et al.(2011)の研究では、TPBが、起業意図の発達を説明するモデルとしては適切であるという結果が出た。
- ・しかし、これらの研究では、起業意図に対する起業教育や、起業活動への接触といった影響まで含めた分析はなされていない。
- ・本研究では、Figure1に示したように、起業意図に影響を及ぼす要因を「起業教育」や「起業活動との接触」も含めて分析する。

B. Hypotheses 仮説

- ・仮説 1a: 知覚された望ましさが、起業意図と、正の関係を持つ
- ・仮説 1b: 知覚された実行可能性が、起業意図と、正の関係を持つ
- ・仮説 2a: 過去の起業活動との接触が、起業意図と、正の関係を持つ

仮説 2b: 起業教育は、起業意図と、正の関係を持つ

・仮説 3a: 女性は、男性よりも、低い起業意図を持つ

仮説 3b: 性別は、起業教育と起業意図の關係に、正の交互作用効果を持つ

・仮説 4a: 技術大学の学生は、他の大学よりも、高い起業意図を持つ

仮説 4b: 技術大学は、起業教育と起業意図の關係に、正の交互作用効果を持つ

・仮説 5a: 技術専攻の学生は、他の専攻よりも、高い起業意図を持つ

仮説 5b: 技術専攻は、起業教育と起業意図の關係に、正の交互作用効果を持つ

・知覚された望ましさと実行可能性に続く、第 3 の重要な要因が「過去の起業活動との接触」経験である。先行研究では、自営業の両親がいたことが、自営業になる先行要因となっていた(Dunn & Holtz-Eakin 2000 他)。ファミリービジネスの中にいて、起業活動に接触していた経験は、ファミリーメンバーの起業意図に影響していた(Dyer & Handler 1994)。

・ファミリービジネス環境で育った子供達は、家族の話を聞いたり、見たり、感じたり、知ったりして、現実の起業活動を理解する。このような起業活動との接触が、自営業者にとって必要な情報や行動スキルの発達に重要と考えたのが、Carr & Sequeira(2007)である。彼らは、過去のファミリービジネスとの接触が、起業意図に正の關係を示すことを実証している¹。

・更に、Hundley(2006)は、起業資本(スキル、価値観、その他自営業で成功するための特性)の獲得は、自営業の両親との接触の影響があることを明らかにしている²。

・ファミリービジネスにおいて、両親は、起業に必要なスキル、価値観、自信を、教えることができる。

・学生の起業意図に、起業教育は正の効果を与えることが実証されている。

・Cho(1998)は、起業教育が、起業意図を促進する理由として、起業に関する知識やスキルを得ることで、個人が新しいベンチャーを興す意欲を刺激するからだとして述べている。

・Gorman et al.(1997)と、Kuratko(2003)は、教育を通じて、起業家精神を学ぶこと、少なくとも、勇気づけることはできると主張している。

・Gorman et al.(1997)、McMullan et al.(2002)や Peterman & Kennedy(2003)は、特定の起業教育は、起業することを勇気づけ、かつ起業した後のビジネスパフォーマンス向上につながっていることを明らかにした。

・Wu & Wu(2008)は、起業教育を受けた学生は、スタートアップを始めることに、より強い意図を示すことを明らかにしている。

III. Data and methods データと手法

A. Sample サンプル

・中国にある 10 の大学: 5 つ技術大学と 5 つのその他の大学、5 つの起業教育を行っている大学と 5 つの行っていない大学

・北京や上海といった大都市から、Hangzhou や Wuhan といった地方都市にある大学

・全大学共通のコースを受講している学生(一クラスあたりの平均人数が 60)を調査対象に

・2010 年 5 月から 8 月にかけて、質問紙調査を実施

・700 通を配付し、510 通を回収(72.86%)内、494 通を分析に使用

・494 通の内、男性 51%、女性 49%。学部生が、64%、修士課程が、27%、博士課程が、9%。35%が、技術専攻。

¹ Prior family business exposure as intergenerational influence and entrepreneurial intent: A Theory of Planned Behavior approach

<http://citeseerx.ist.psu.edu/viewdoc/download?doi=10.1.1.457.4847&rep=rep1&type=pdf>

² Family Background and the Propensity for Self-Employment

https://onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.1111/j.1468-232X.2006.00429.x?casa_token=xsyjSU8WzcMAAAA:fnGYBgdG8rlaMAMZmw6UaEZ5YjXWMHMNBhEbYN1d3Riiu66ZFUt-N7z2PdLKYQJp8gytRvz-PSiaEg

B. Measures 測定

1. Dependent variables 従属変数

・「起業意図」を、Yes=1, No=0 で分析。「将来、あなたは、事業を始めると思うか？」

2. Independent variables 独立変数

・「知覚された望ましさ」は、3つの質問で構成:

1)新しい事業を持つことを、あなたは、どのくらい望んでいるか? 2)どのくらい真剣か? 3)どのくらい熱心か?

・「知覚された実行可能性」は、3つの質問で構成:

1)新しい事業を走らせていくのは、どのくらい大変だと思うか? 2)成功の確率はどのくらいだと思うか?

3)あなた自身、どのくらい確実なのか? How sure of yourself are you?

・リッカート尺度、1~5で測定。

・「過去の起業活動との接触」

・「起業教育」

・「性別」(女性=0、男性=1)「大学の種類」「専攻」(技術=1、その他=0)

3. Control variables 統制変数

・「年齢」「教育段階」(博士=3、修士=2、学部=1)

C. Method 手法

・Probit Maximum Likelihood Regression プロビットモデルで分析

IV. Results 結果

・Table1 が、相関係数。

・Table2 が、仮説検証の結果を示している。

・仮説 1a: 知覚された望ましさは、起業意図と、正の関係を持つ ○

仮説 1b: 知覚された実行可能性は、起業意図と、正の関係を持つ ×

・仮説 2a: 過去の起業活動との接触は、起業意図と、正の関係を持つ × (一)

仮説 2b: 起業教育は、起業意図と、正の関係を持つ ○

・仮説 3a: 女性は、男性よりも、低い起業意図を持つ ○

仮説 3b: 性別は、起業教育と起業意図の関係に、正の交互作用効果を持つ ○

・仮説 4a: 技術大学の学生は、他の大学よりも、高い起業意図を持つ ○

仮説 4b: 技術大学は、起業教育と起業意図の関係に、正の交互作用効果を持つ ○

・仮説 5a: 技術専攻の学生は、他の専攻よりも、高い起業意図を持つ ○

仮説 5b: 技術専攻は、起業教育と起業意図の関係に、正の交互作用効果を持つ ○

・仮説 1b: 知覚された実行可能性は、起業意図と、正の関係を持つ ×

・この予想されなかった結果が起こった理由としては、否定的な環境の影響があると考えられる。それらは、1)複雑な手続き 2)資金へのアクセス 3)全般的な経済状況 が、事業開始を妨害する要因となったのかもしれない。

・特に、今回回答してくれた中国の学生たちは、過去に起業した経験が無いいため、彼ら自身の内面統制や、環境管理ができる自信を持てなかったのかもしれない。

・仮説 1b は、支持されなかったが、これは、Guerrero et al.(2008)の結果である「実行可能性は、学生の起業意図に正の関

係を持たなかった」と同じものとなった。

・仮説 2a: 過去の起業活動との接触が、起業意図と、正の関係を持つ × (一)

・この仮説は支持されなかったのみならず、起業意図に対して、この変数は、負の効果を持っていた。

・この結果に驚いたのと同時に、Carr & Sequeria(2007)の議論を、一部は支持する結果となったともいえる。彼らは「過去にファミリービジネスを経験した個人は、その経験を自らの起業活動に対して、肯定的にも否定的にも使いうる」と述べている。

・今回、負の効果が表示された理由として、学生たちの多くが否定的な起業経験(例:倒産)と接触していた可能性がある。そのような否定的な起業経験をした他の役割モデルを見て、自営業に対する恐怖やリスク感が強まり、それが起業意図に負の効果としてつながったのかもしれない。例えば、学生の家族に自営業者がいて、彼らの失敗や挫折経験を見聞きしていたとすれば、学生の起業意図を阻害する要因となろう。

・更に、中国の学生起業活動の失敗率は非常に高い(98%)。このような高い失敗率を知っていて、かつ自営業のリスクを感じていたとすれば、安定収入が得られる賃金労働を選択する学生が多くなるであろう。それが、学生の企業活動に対する見方に、否定的な影響を与えたのかもしれない。

V. Conclusion 結び

・本研究において、起業教育は起業意図に対して間接効果を持つという大半の研究とは違い、直接効果を持つという結果が明らかになった。

・我々は「起業家精神は、教育によって、特に起業教育によって、増やすことができる」という哲学(European Commission 2006)を実証したかった。本研究で、起業教育は、起業意図*に影響を及ぼすことが明らかになった。

*起業意図は、起業活動に正の効果をもたらす。

・我々の研究は、起業研究における問い「なぜ、ある人々は起業して、他の人々はしないのか？」(Baron 2004)に貢献するものであり、起業教育の影響を示すものとなった。

・「性別」の起業意図への影響は、驚くべきものではないし、それによって益々女性の役割モデルの必要性を議論する最近の傾向を強めるものとなった。政策担当や教育者たちは、起業は男性的特徴と紐づけられていることを、再認識すべきである。女性の役割モデルの欠如は、このようなステレオタイプを助長する。より女性にアピールするよう起業に対する新たな見方を提供すべきである。

・本研究の結果によって、技術大学、技術専攻における起業教育の影響が明らかになった。彼ら技術者に対する起業教育は有効であり、技術起業につなげるためにも、これら特定の学生ターゲットがより興味をもてるような起業教育の進展が望まれる。

・「過去の起業活動との接触」は、負の効果を示し、かつそれは起業教育の影響よりも強かった。学生が、起業による否定的な結果(例:倒産、長時間労働、ストレス)を見聞きしているとすれば、それは彼らの将来の起業意図を減少させるものとなる。この領域での今後の研究が望まれる。

・本研究の結果から、教育者は、技術専攻の学部生に対する起業教育を強化すべきである。適切な教育により、潜在的起業家たちは、機会を認識し、経済的資源を探索し、効率的なチームを組織することができるだろう。そのような起業教育は、学生の起業意図を刺激し、新しいベンチャーを育てられる起業家の育成につながるだろう。

・本研究の限界は3つである。

- 1)大学の学生のみを調査対象としたため、他の集団に本研究の結果が適用できるとは言い切れない
- 2)調査後の学生の起業活動については追跡できていない
- 3)大学がある地域レベルでの分析はできていない

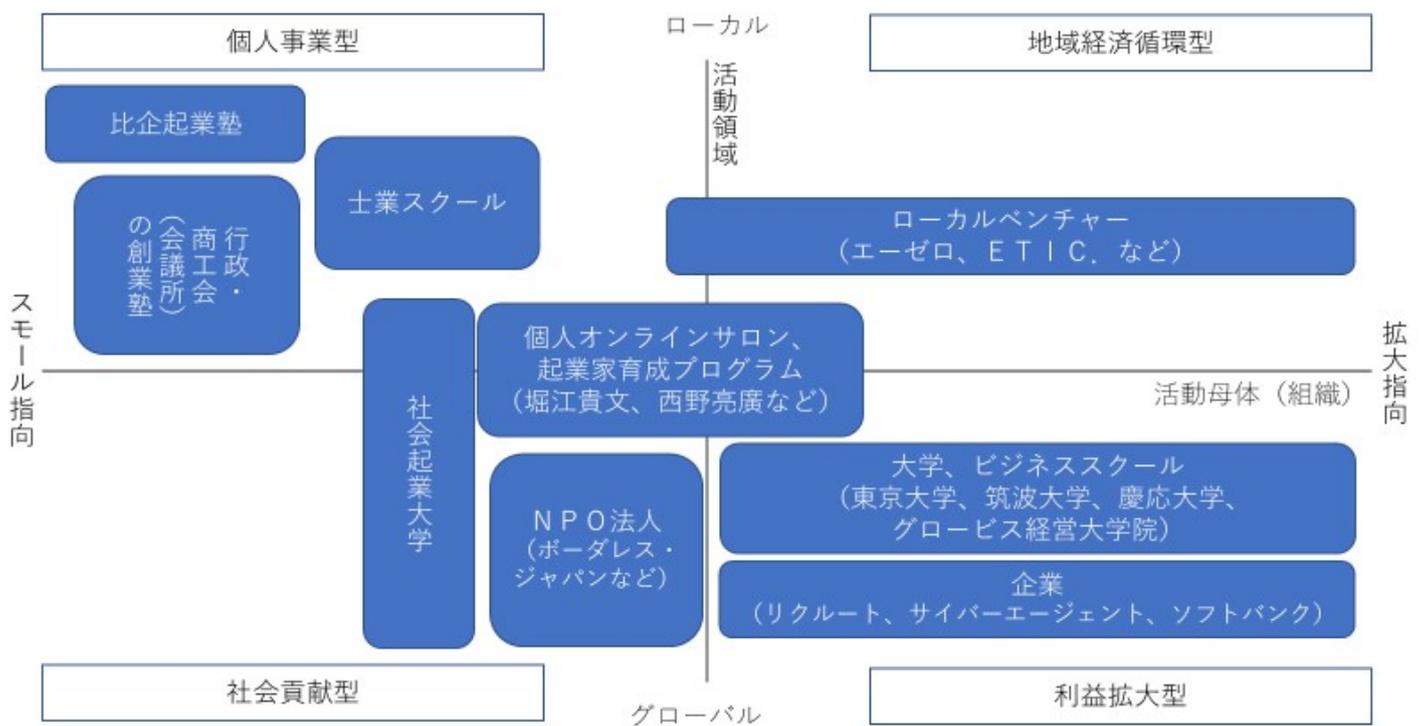
・今後の研究では

- 1)起業教育の前と後での起業意図の変化
- 2)大学以外の教育機関(例:Middle school)での調査

3) パス解析やマルチレベル分析の利用 も求められる。

■感想

- ・「過去の起業活動との接触」として、自営業の両親の影響の大きさを改めて実感。
 うちの4人の子供達にも起業の道を行ってほしいけど、それぞれに向き不向きや好き嫌いもある。
 自分にできることは、奥さんと、リアルな話(受注、失注、売上、支払...)を、子供たちがいる場でもしながら、
 「自分で決められる」「自分で未来を作っていける」起業の楽しさや大変さを、何となく感じてもらうことなのかも。
 その「接触」を通じて、子供たち自身が「起業するのか」「雇用されるのか」はたまた違う道を選ぶのか、
 自分で考えていこう。
- ・今回の文献では詳細が分からないが、「起業教育」として、大学で、具体的にどのようなことが行われているのか知りたい。
- ・私自身、2017年から仲間と、埼玉県比企郡ときがわ町を中心に「比企起業塾」を行っているので、他の「起業教育」との位置づけを考えてみることにした。比企起業塾2期生の風間氏(3月末まで、地方公務員)に「起業教育」の分類をしてもらった。(風間氏作成の資料を、一部改変)



・「比企起業塾」は、ミニ起業家(個人事業主・零細企業 雇用無し)を対象に、「小さく始めて、大きくせずに、長く続ける」ことを重視。ミニ起業の成功を、複数顧客の獲得とその維持による「事業の継続」においている。

■皆で意見交換したいこと

- ・起業家を育てる「起業教育」には、どのようなものがあるのか？(特に、大学において)
- ・効果が高い(例: 起業意図につながる、起業後の事業継続につながる)と思われる「起業教育」は、どのようなもの？

以上